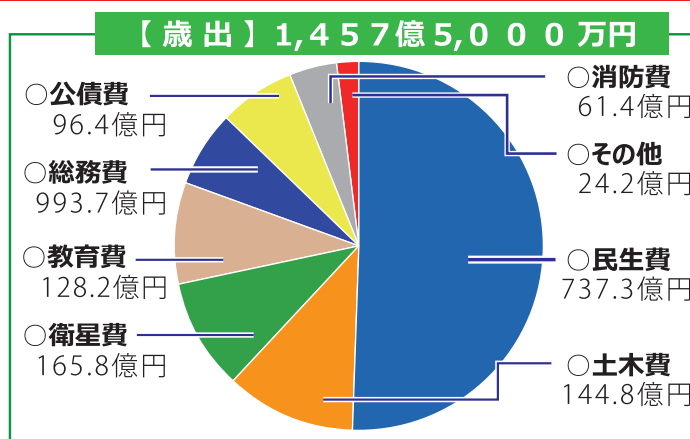


平成29年度の松戸市一般会計予算案について具体的な内容をお知らせ

去る3月23日、松戸市議会3月定例会が閉会となりました。最終日には、4月からの新年度における、平成29年度松戸市一般会計予算及び特別会計、企業会計をはじめとして、各議案の議決が行われました。その結果、平成29年度の一般会計予算は、前年度比67億3千万円減の1,457億5千万円で可決となりました。

一般会計予算が前年を割り込んだ背景には、公立小・中学校の全校冷房化事業や、土地開発公社解散にともなう事業の買戻しを行ったことなどに多額の費用が必要だったことがあげられます。そのような事業費から解放された一方で、今年12月に開院予定の新しい松戸市立医療センターの建築費や関連する環境整備費にも多額の予算が必要となるうえ、引き続き厳しい我が国の経済情勢を反映するように高まる民生費にも、しっかりと財源を手当てしなくてはなりません。とくに本市は、他市と比較しても高い水準にある高齢化率に、どう対処していくかが厳しく問われています。かつ、将来の担税力の担保のためにも、子育て世代を本市に呼び込むための施策も重要です。いかにして限られた財源の中で、高齢者支援と生産者世代へのサポートの両立を図るかについては、市全庁横断的な検討と取り組みが求められているのです。



※上記の金額は概算です。

松戸市の予算は、一般会計と呼ばれる主軸となる予算をはじめ、比較的明確な目的に対して特定の歳入をもってあてる特別会計、さらには民間企業と同じように独立採算を原則として収益の上がる

事業を行う企業会計の3分野からなっています。一般会計予算額は、全小・中学校の冷房化や、土地開発公社解散にともなう土地の買戻しなどに大きな費用がかかる事を受け、過去最大となりました。

加えて、来年度は松戸市総合計画において、その総決算ともいえる第6次実施計画期にもあたります。このことは、次なる長期計画にどのようにバトンをつなげるかという時期でもあります。私たちの住むこの松戸市の未来がどのように描かれ、いかなるビジョンに向かって進んでいくのか。日ごとに厳しさを増す都市間競争に打ち勝ち、誰もが不安なく健康に過ごすことができる松戸であり続けるために、議会と行政が丸となり、市民の暮らしを守り続けます。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇ 中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇ 介護事業所 取締役
- ◇ NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇ 公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇ 松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆ 楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆ 学生時代はバスケットボール部